

DBuzz

複雑な業務を、もっとシンプルに。
誰でも使える業務ツール

Developed By

CODE ONE VENTURES

code1

目次



01. 日常業務に共通する課題

02. 既存ツールでは解決しきれない理由

03. DBuzzとは

04. DBuzzの特長

05. 想定ユースケース

06. 管理・セキュリティ・運用

07. 導入効果（日常業務での具体的な変化）

08. お問い合わせ

日常業務に共通する課題

多くの組織では、
日々の業務がExcel・紙・メールを中心に運用されています。

これらは長年の運用で定着している一方、
業務の複雑化や環境変化により、
運用上の課題が顕在化し始めています。

日常業務における課題



Excel中心で業務が分断

- 業務ごとにExcelファイルが増えていく
- 担当者ごとに管理方法が異なる
- 情報が複数のファイルや場所に分散する
- 担当者の変更時に引き継ぎが難しくなる



システム化のハードル

- 業務ごとに必要な機能や運用方法が異なる
- 既存システムでは細かな業務に対応しにくい
- 新しいシステムの導入には時間やコストがかかる
- 導入後の変更や運用に専門知識が必要になることがある



申請・承認業務が滞留

- 申請状況や承認状況が把握しにくい
- 誰のところで止まっているか分かりにくい
- 確認や催促に時間がかかる
- メールや口頭でのやり取りが履歴として残りにくい

「複雑すぎないこと」「引き継げること」「止まらないこと」が求められています。

既存ツールでは解決しきれない理由

ノーコードツールの普及により、専門的なプログラミング知識がなくても、業務に合わせたシステムを構築しやすくなりました。一方で、実際の運用では、業務設計や初期設定、導入後の変更・管理に一定の知識や経験が必要になることがあります。

01. 設計の自由度が高すぎる

自由に設計できる一方で、何をどのように作るかを利用者側で考える必要があります。

02. 初期構築に一定の知識が必要

プログラミングは不要でも、データ構造や画面、業務フローなどを設計するための理解が求められます。

03. 運用が担当者に依存しやすい

構築した担当者しか設定や変更方法を把握しておらず、担当変更の際に引き継ぎが難しくなることがあります。

04. 使いこなすまでに時間がかかる

幅広い業務に対応できる反面、日常的に使う機能を理解し、運用を定着させるまでに時間がかかる場合があります。

高機能で自由に作れることと、誰もが使いやすく、運用し続けられることは同じではありません。

DBuzzは、日常業務に必要な機能にあえて絞ることで、導入から運用までをシンプルにします。

DBuzzとは

DBuzz は、申請・承認、情報管理、契約管理など、
日々の業務をシンプルにデジタル化するために設計された業務ツールです。

専門的なIT知識やプログラミングは不要
画面操作だけで業務画面や承認フローを構築
制度変更や業務内容の変更にも柔軟に対応

日常業務で必要とされる範囲にあえて機能を絞り、
誰でも使いやすく、担当者が変わっても業務を引き継ぎやすいことを重視して設計されています。

- 専門的なIT知識やプログラミングは不要
- 画面操作だけで申請フォームや承認フローを構築
- 年度ごとの制度変更や業務変更にも柔軟に対応

DBuzzの特長

— 日々の業務を支えるための設計 —

DBuzzは、誰でも使いやすく、日々の業務をスムーズに進められることを重視して設計されています。

● **直感的な業務画面作成**
～Excel感覚で使える、分かりやすい入力画面～

● **AIによる業務アプリ自動生成**
～初期設計で迷わず、すぐに使い始められる～
※2027年春の実装に向けて開発中

● **承認フローを含む業務プロセス管理**
～業務に合わせた申請・承認の流れを構築可能～

● **リアルタイムな状況把握**
～申請・業務の進捗を一目で把握～

● **帳票出力・既存システム連携**
～二重入力を防ぎ、事務作業を増やさない～

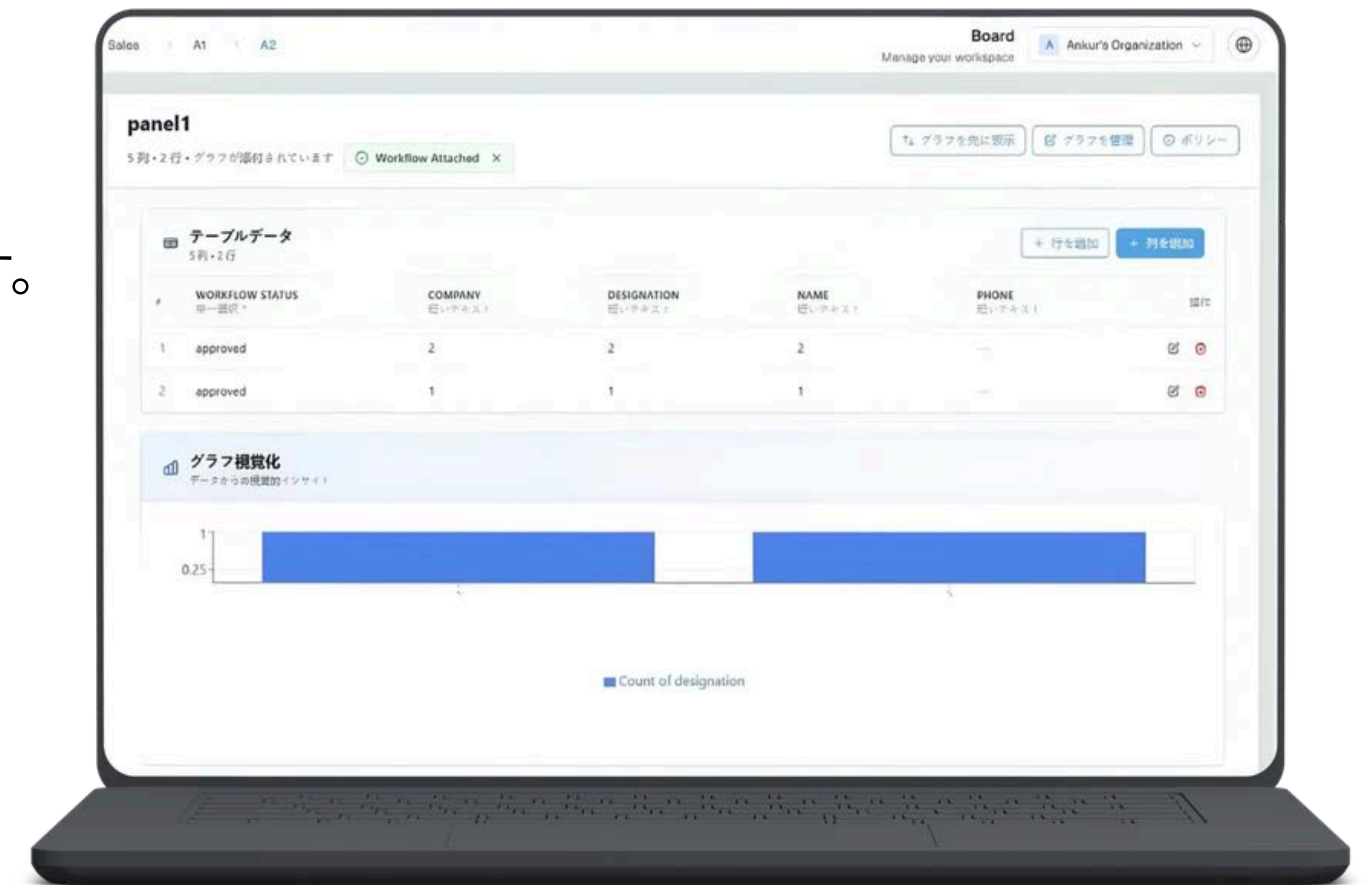
1 | 直感的な業務画面作成 (Forms & Lists)

日常業務で使う画面は、特別な説明がなくても理解できることが重要です。
DBuzzでは、入力項目を配置するだけで、申請・管理に必要な業務画面を作成できます。

- テキスト、数値、日付、選択肢などを画面上で配置
- Excel感覚で入力でき、操作説明をほとんど必要としない
- 自動採番や計算項目も画面操作だけで設定可能

業務上の効果

担当者が変わっても、使い方を理解しやすいシンプルな画面設計です。



2 | AIによる業務アプリ自動生成

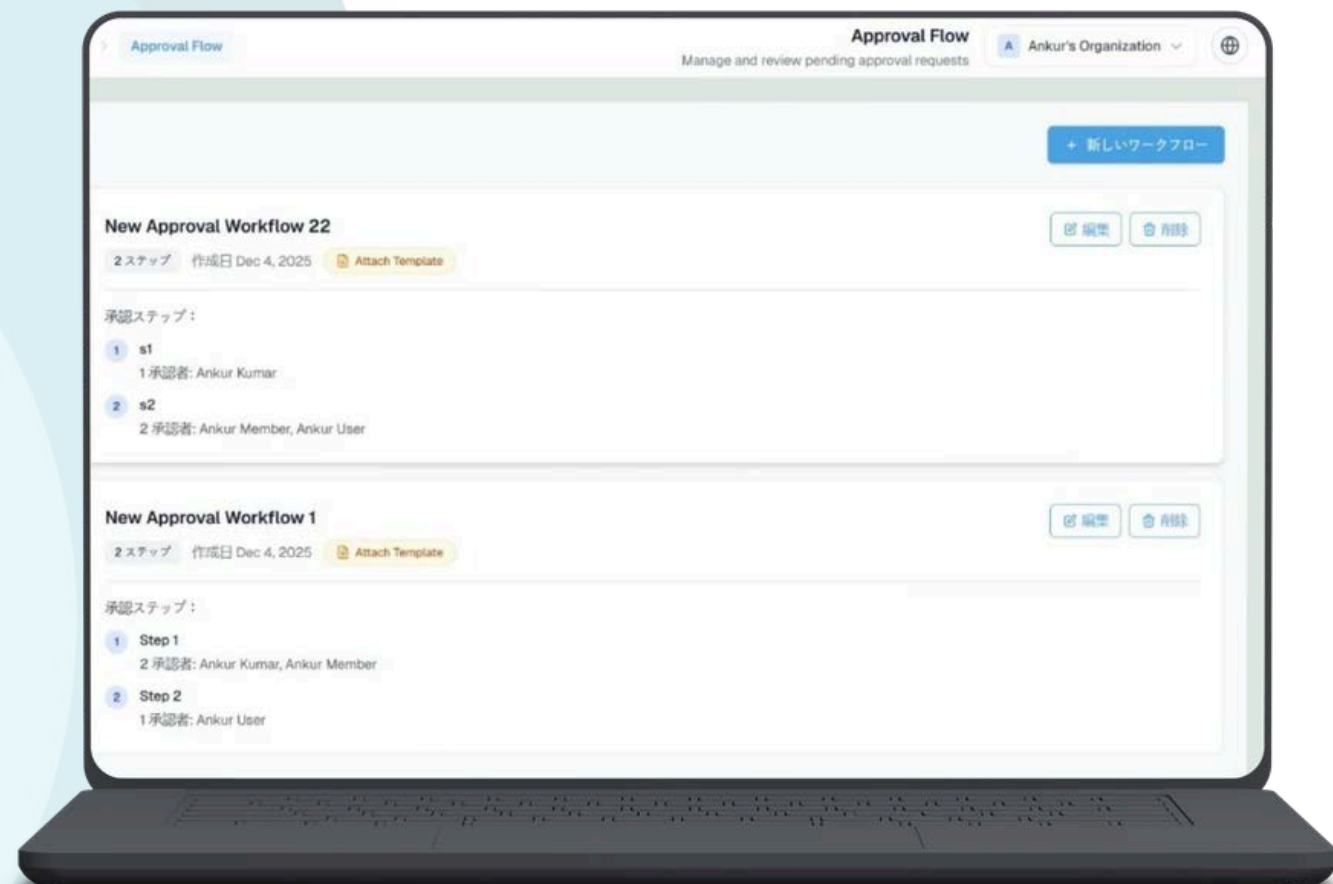
初期設計でつまづくことは、業務システムが定着しない大きな要因です。
DBuzzでは、業務内容を自然な言葉で入力するだけで、業務に合った画面構成を自動生成できます。

- 「申請業務を管理したい」など自然文で指示
- フォーム・一覧・基本項目を自動生成
- テスト用データも自動作成し、すぐに試せる

業務上の効果

最初の設計に時間をかけずに、業務改善をスムーズに始められます。

※2027年春の実装に向けて開発中



3 | 承認フローを含む業務プロセス管理

申請・承認・差戻しが日常的に発生する業務においては、「今どこで止まっているのか」を把握できることが重要です。DBuzzは、こうした業務を前提に、承認フローを画面上で分かりやすく構築できます。

- 申請 → 承認 → 最終確認などの流れを画面操作で設定
- 各種申請、稟議、契約手続きなどに対応
- 承認状況・履歴・差戻しを自動管理

業務上の効果

「今どこで止まっているか」がすぐ分かり、申請・承認業務をスムーズに進められます。

4 | リアルタイムな状況把握（ダッシュボード）

業務が滞る原因の一つは、状況が見えないことです。

DBuzzでは、入力・申請されたデータを自動集計し、業務の進捗をリアルタイムで把握できます。

- 申請件数・進捗状況を自動集計
- 部署・担当・期間別など、必要な単位で状況を可視化
- 確認や問い合わせ作業を削減

業務上の効果

状況確認に追われることなく、本来の業務に集中できます。





5 | 帳票出力・既存システム連携

入力後に発生する事務処理や帳票作成は、業務全体の負担になりやすい作業です。

DBuzzは、入力されたデータをそのまま活用し、事務作業を増やさない設計になっています。

- 入力されたデータをそのまま帳票として出力
- Excel・Word・PDF形式に対応
- 既存システムとのデータ連携

業務上の効果

一度入力したデータをそのまま活用できるため、転記や二重入力の負担を減らせます。

管理・セキュリティ

—安心してお使い頂くために—

多くの関係者が関わる業務では、
権限管理や履歴管理を含めた運用面の安心感が欠かせません。

DBuzzは、日常業務の中で安心して使い続けられることを前提に、
管理・セキュリティ・運用面にも配慮した設計となっています。

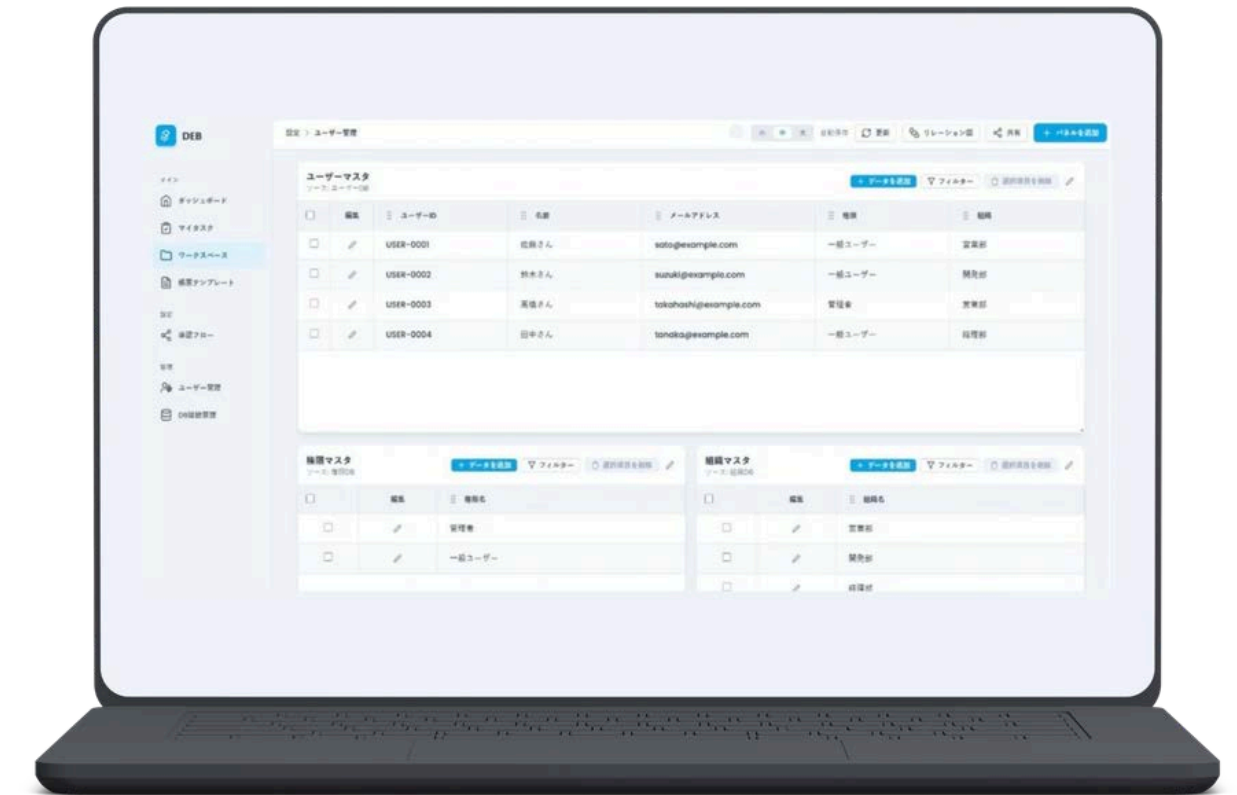
1 | 組織・役割に合わせた権限管理

多くの業務では、複数の部署や担当者が、それぞれ異なる役割に関わります。
DBuzzでは、組織や役割に合わせた柔軟な権限管理が可能です。

- ・ 個人単位だけでなく、部署／役割／職位などの単位で権限設定が可能
- ・ 閲覧のみ／編集可など、操作レベルで細かく制御
- ・ 役職や担当に応じた利用範囲の調整が可能

業務上の安心感

必要な人が、必要な範囲でのみ業務に関われます。



2 | 操作履歴・変更履歴の自動記録

後から経緯を確認できることは、業務を進める上で重要です。
DBuzzでは、「誰が・いつ・何を行ったか」を自動的に記録します。

ポイント

- ・ データの追加・変更・承認履歴を自動保存
- ・ 差戻しや修正の履歴も追跡可能
- ・ 内部確認や監査対応にも活用可能

業務上の安心感

属人化せず、業務の透明性を保てます。

権限と履歴を明確に管理することで、日々の業務を安心して継続運用できます。

3 | 運用方針に合わせた導入・運用形態

組織ごとに、セキュリティ方針や既存システムの状況が異なるため、導入形態に制約があるケースも少なくありません。DBuzzは、それぞれの組織の事情に合わせて、柔軟に導入・運用できる設計となっています。

クラウド／オンプレミス対応

- すぐに利用を開始できるクラウド環境
- 組織の規定に応じて選択できるオンプレミス環境
- 既存の運用ルールを大きく変えずに導入可能

業務上の安心感

組織のセキュリティ方針や運用ルールに合わせた導入が可能です。

既存システム・データとの連携

多くの組織では、すでにさまざまな業務システムやデータが運用されています。DBuzzは、それらを無理に置き換えるのではなく、連携しながら活用することを前提としています。

- 既存データベースとの連携が可能
- 二重入力やデータ分断を防止
- 段階的な導入・移行にも対応

業務上の安心感

既存システムを活かしながら、業務改善を進められます。

組織ごとの運用方針に合わせて、無理なく導入し、継続運用できる仕組みです。

導入効果

— 日々の業務はどう変わるのか —

DBuzzを導入することで、
日々の業務をよりシンプルに、
スムーズに進められる環境へと変えていきます。



日常業務で実感されやすい変化

導入効果① 導入・改善のスピードが大きく向上



制度変更や業務内容の変更など、「すぐ形にしたい」場面においては、柔軟に対応できることが重要です。DBuzzでは、業務内容をもとに画面やフローを素早く作成できるため、業務改善を短期間で進められます。

- 画面操作で、初期構築がスムーズ
- 小さな改善を、必要なタイミングですぐ反映
- IT部門や外部ベンダーへの依存を最小限に

業務での実感

「思いついた改善を、そのまま形にできる」ようになります。

導入効果② 申請・承認業務が見える化され、滞りにくくなる



申請や承認が滞る要因の一つは、進捗が分かりにくいことです。DBuzzでは、申請状況や承認段階を一元管理できるため、業務の流れが見えやすくなります。

ポイント

- 承認状況を関係者全員で共有
- 滞留箇所がすぐに分かる
- 差戻しや修正の経緯も追跡可能

業務での実感

確認や催促に追われる時間が減り、業務が前に進みやすくなります。

継続運用の中で効いてくる変化

導入効果③ 属人化が減り、引き継ぎがスムーズに



担当者ごとに管理方法や運用ルールが異なると、担当変更のたびに引き継ぎの負担が発生します。DBuzzでは、業務の流れや情報を一元化することで、担当者が変わっても業務を引き継ぎやすくなります。

- 業務の流れやルールを共通化
- 必要な情報や履歴を一元管理
- 担当者が変わっても業務を継続しやすい

業務での実感

「その人にしか分からない業務」が減り、引き継ぎの負担を軽減できます。

導入効果④ 業務データが蓄積され、判断に活かせる



日々の業務で入力された情報を蓄積することで、業務の状況や傾向を把握しやすくなります。DBuzzでは、蓄積されたデータを集計・可視化し、業務改善や判断に活用できます。

- 日々の業務データを自動的に蓄積
- 部署・担当・期間など、必要な単位で集計
- 蓄積したデータを業務改善や判断に活用

業務での実感

経験や感覚だけでなく、蓄積されたデータをもとに判断しやすくなります。

業務ツール比較（DBuzz × kintone）

項目	DBuzz	kintone
想定ユーザー	教職員・事務職員日常業務を担う幅広い利用者	業務改善担当者・情シス
基本コンセプト	日常業務に必要な範囲に機能を限定	汎用ノーコードプラットフォーム
初期構築のしやすさ	画面操作でスムーズ	設計理解・試行錯誤が必要
IT知識の必要度	ほぼ不要	一定程度必要
日常業務での使いやすさ	Excel感覚で直感的	慣れが必要
業務変更への対応	現場主導で対応可能	担当者・情シス対応が中心
属人化リスク	低い	設計者・管理者に依存しやすい
承認・差戻し業務	標準機能として対応	設計次第
導入後の運用負荷	低い	中

※本比較は、大学における日常業務での使いやすさ・運用のしやすさという観点から整理したものです。各製品の機能の優劣を示すものではありません。

- kintone は柔軟性が高く、幅広い業務に対応できる一方、初期設計や運用には一定のITリテラシーが求められます。
- DBuzzは、日常業務に必要な範囲にあえて機能を絞ることで、誰でも使いやすく、継続して運用しやすいことを重視しています。

DBuzzは、日々の業務を誰でも使いやすく、担当者が変わっても引き継ぎやすいように設計されています。

お問い合わせ

DBuzzは、それぞれの業務内容や運用方針に合わせて、無理のない形で導入・ご検討いただけます。

実際の業務を想定したデモのご紹介、小規模な業務からの試験導入（PoC）、現行業務を踏まえた活用方法のご相談など、段階的な検討も可能です。

まずはお気軽にご相談ください。

Contact Us

hello@codeoneventures.com

